

歯科衛生士専門学校への入学勧誘を試みて

— 第 1 報 — 一 開業医として関わって —

鹿行支部 タナカ歯科 田中晃伸

演者は一個人として、将来の当地区での歯科衛生士拡充のため、歯科衛生士専門学校の認知度を高めかつ進学勧誘を目的として、地域高校に対して訪問説明を行った。

訪問の主旨として①衛生士としての職種・業務の説明、②高求人率と雇用条件、③当校の設立経緯と理念、④入学試験における推薦も含めた選抜方法、⑤当校の授業構成（学外実習を含む）等に関して、説明させていただき、説明の後に、アンケート用紙をお渡しし、無記名にて返信用の封筒にて返送をお願いした。アンケートの対象は7校であり、内容としては専門学校のアピールをも意図するものとした。

その結果において重要な点を述べると、当専門学校より郵送しているにも関わらず、専

門学校の存在の認知度も低く、国試合格状況や卒後の条件等に関しては、その認知度は皆無に等しい状態であった。

高校側における進学情報に関しては、常に鋭敏であるにも関わらず、このような認知度不足はあきらかに歯科医師会としての組織的なアピール不足と考えられる。

今後においては、単に募集要項・学校案内を送付するというだけではその経費さえも無駄となるため、担当学校歯科医を中心とした徹底的な専門学校の紹介が必要ではないかと思われる。